

緑のボランティア通信

2017.6.1

No.50(特別号)

“花と緑豊かなまちづくりを目指して”

(公財)川崎市公園緑地協会 理事長 大谷雄二

2000年代を迎え、分権社会の到来が叫ばれる中、緑行政におきましても保全された緑地の管理活動をはじめ、花壇管理活動や市民健康の森の活動など、市民の皆様が主体的に関わる活動が、躍動し始めました。

そして、この間、策定されました市の総合計画におきましても「市民協働」を基本とした施策が掲げられ、より一層、市民の皆様とのパートナーシップに基づく、花と緑豊かなまちづくりを目指す取り組みが展開され、今日におきましても市民の皆様との協働は、連綿と続いております。

市民の皆様のご活動の多くは、土・日・休日を中心であり、行政が活動の指導や支援を継続して担うには大変厳しい状況でした。そこで2006年度より、私ども協会がボランティアセンターとしての機能を有し、通常の勤務形態にて対応可能であることから様々な緑のボランティア活動の支援を行い、成果をあげております。

それから、丸11年、ボランティアの皆様への情報提供、交流を目的とした「緑のボランティア通信」も50号の発行を迎えるに至ったところでございます。

行政から引継ぎました「花と緑のまちづくり講座」や「里山ボランティア育成講座」をはじめ、新たに取り組まされた「花壇ボランティア実践講座」や「こども黄緑クラブ(こども自然体験教室)」なども実施いたしまして、現在では、約1200団体、15000人の市民の皆様がボランティア活動としての「花壇づくり」や「里山の保全活動」、「公園の管理運営活動」などに携わっていただいております。

花や緑には、人と人を結びつけるコミュニケーション力や心を癒し、和ませ、支え合うなど、人に生きる望みを与えてくれる力があることは、誰もが感じていることと思います。少子高齢社会の到来が避けられない今日、様々な形で地域でのコミュニティづくりが進められておりますが、川崎市が取り組んでおります地域包括ケアシステムで掲げる「共助・共に支え合う」の根幹となる「顔の見える関係づくり」には、花壇づくりや里山管理活動など、花や緑に関わるボランティア活動こそ、最も効果のある取り組みと考えます。

市民の皆様は、それぞれ目的を持って公園や緑地に訪れると思っておりますが、訪れる人と活動している人の出会い(「ご苦労様です」、「一緒にいい汗流しませんか」という会話の始まり)こそ、共に支え合う関係づくりの一助になるものと確信しております。

これからも、市民の皆様との絆を大切に、皆様とともに「花と緑豊かなまちづくり」に向け、ボランティア活動を支える中間支援組織として活動の輪が広がるよう、事業の充実に取り組んでまいりますので、当協会の更なる事業の推進に期待をお寄せください。



まちづくり講座実習花壇



森づくり講座実践編



かわさき緑のイメージキャラクター
緑の妖精 グリンピー

目次

協会の取り組み 協会理事長	1
募集案内	2
緑の活動団体助成制度のながれ / 旧西部公園開所のご案内	3
ツリー・ウォッチング	4

募集案内

◆平成29年度 交流事業

公園編 6月20日(火)・21日(水) 10時～12時

- *会場：等々力緑地ふるさとの森
- *内容：ツツジの剪定

***申込み方法**：団体名、参加者名、〒、住所、電話番号、参加人数、希望日を明記し、公園緑地協会「公園編」係宛、メール・Fax・郵送で実施3日前までにお申込みください。
E-mail:y.yagyu@kawasaki-green.or.jp



等々力緑地ツツジ

◆第13回わがまち花と緑のコンクール表彰式

- *平成29年6月24日(土) 14時～16時(13時半受付開始)
- *中原市民館 2階多目的ホール

団体、個人部門の大賞ならびに各賞の表彰、選考委員による審査の講評と記念講演も行います。会場では全応募内容を展示しますので、市内の素敵な景観探しや花と緑のまちづくりの交流に是非お越しください。

花苗のプレゼントもあります。

申込み不要・参加無料・先着200名



◆平成29年度「里山ボランティア育成講座」

川崎のみどりを守り、育てる「かわさきの森づくり」は、地域の緑地を知り、実際に作業を体験して里山の保全に貢献します。都合の良い日程、希望の内容を選んで参加ください。

実践編 (各回とも9:30～12:00 小雨決行 荒天中止 参加費無料)



	日時	会場	内容
第5回	7月2日(日)	菅小谷緑の保全地域(多摩区)	真竹林整備、丸太階段づくり
第6回	7月22日(土)	南野川特別緑地(宮前区)	里山整備、生き物探し
第7回	8月6日(日)	葉積緑地(麻生区)	シノダケ刈り、クラフト
第8回	9月24日(日)	井田長瀬緑地(中原区)	アオキ・シュロの除伐
第9回	10月15日(日)	高石特別緑地(麻生区)	クズ蔓の除去
第10回	11月19日(日)	黒川丸山特別緑地(麻生区)	シノダケ刈り
第11回	12月3日(日)	菅北浦緑地(多摩区)	緑道整備、下草刈り
第12回	1月27日(土)	岡上梨子ノ木特別緑地(麻生区)	コナラの伐採

講義編 (各回とも9:30～15:00 室内 参加費無料)

	日時	会場	講義内容
講義A	6月20日(火)	川崎市公園緑地協会(中原区)	川崎市の「緑の基本計画」 里山の自然環境と管理手法 野外活動の安全管理と救急法 道具の使い方や手入れの仕方等
講義B	10月8日(日)	多摩市民館(多摩区)	
講義C	2月10日(土)	黒川青少年野外活動センター(麻生区)	

- *実践編4回以上、講義編1回以上の参加で「里山ボランティア育成講座」修了証を発行します。
- *申込み方法：はがきに〒、住所、名前、年齢、電話番号、メールアドレス、希望日を明記し、公園緑地協会「かわさきの森づくり」係宛、送付ください。現場案内等、詳細は申込者に通知します。
- *実施日の前月の1日から3日前まで先着順で受け付けます。
- *対象は15歳以上の関心のある市民、各回40人程度

緑の活動団体助成制度のながれ・・・・・・・・・・・・・・・・

登録された団体は、講習会や活動発表会への参加、各種事業のチラシ等、花や緑に関わる情報提供の支援を受けられ、各団体の活動内容に応じて活動資金の一部が助成されます。

- 1 緑の活動団体として登録する。※助成金が受けられるのは翌年度から **【随時】**
 ↓ **登録条件** ※町内会、商店会、学校、サークルなどで、公開性の高い場所に植樹、花壇づくり、プランター等により緑化を行い、年間を通じて維持管理を行う団体や下草刈り等の緑地保全活動を行う5人以上の団体です。
- 2 緑の活動団体助成申請書類等が送付される。 **【4月下旬】**
 ↓
- 3 緑の活動団体助成申請書を提出する。 **【5月下旬】**
 ↓ **提出書類** ①助成金交付申請書兼活動計画書 ②活動場所位置図
 ③口座振込依頼書 ④通帳写し ⑤構成員名簿
- 4 緑の活動団体として助成を受ける。※銀行口座に振り込まれます。 **【7月下旬】**
 ↓
- 5 緑の活動団体助成に関する活動報告書類が送付される。 **【2月上旬頃】**
 ↓
- 6 活動報告書を提出する。 **【3月】**
 ↓ **提出書類** ①地域緑化・緑地保全活動報告書 ②活動記録
 ③領収書（原本）または収支計算書 ④活動時の写真

《その他》団体の代表者等に変更または、団体の廃止があった場合は、変更（廃止）届を提出してください。

緑のボランティア活動の打合せスペースの貸し出し等開始・・・・・・・・

緑のボランティアの活用・交流拠点として旧西部公園事務所に打合せスペース等設けました。他にも図書の貸し出し、活動パネルの展示等ご覧いただけます。この機会に是非ご利用ください。

- **利用可能日**：水曜日・土曜日・日曜日の9時から16時まで（12月29日から翌年1月4日まで休館）
- **場 所**：川崎市旧西部公園事務所（高津区子母口565 橋公園内）
- **交 通**：徒歩：南武線「武蔵中原駅」下車20分
 バス：南武線「武蔵新城駅」、東横線「元住吉駅」より10分「子母口小学校入口」下車
 車：隣接有料駐車場あり
- **問 合 せ**：（公財）川崎市公園緑地協会 緑の推進支援課（044）711-6631



旧西部公園事務所



図書の貸し出しスペース

平成18年12月1日に緑のボランティアの方々との情報交換をする場として情報誌「緑のボランティア通信」が発刊されました。10年が過ぎ、第50号となった今、緑の活動団体の登録は254団体になります。これまでの活動団体訪問・自己紹介のコーナーは74団体を数え、掲載されたどの団体の活動内容も貴重で感謝しております。この企画を続けていき、全団体が網羅できるよう努めてまいります。これからも、いつもご協力いただいています緑の活動団体の皆様方の親睦や交流に役立てるよう発信していく所存です。（担当）



協会入口の根性ペチュニア

“後世に残しておきたい”桜の名樹のご紹介

皆様今年のお花見はいかがでしたか。日本にはサクラの野生種が10種あり、幾つかのサクラは稀に雑種を作ります。有名なソメイヨシノも雑種起源で、同じものは二度と作れません。川崎市内でも「雑種起源のサクラ」で、名樹になっているものが知られています。今回は、こうしたサクラの名樹の中、ぜひとも“後世に残しておきたい”名樹を、ご紹介させていただきます。

No. 53

熊野森緑地の『江戸見桜』(ヤマザクラ×オオシマザクラ)



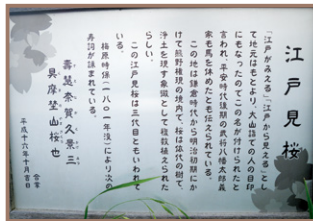
熊野森緑地

交通案内 JR南武線武蔵溝口駅より徒歩17分、
田園都市線梶ヶ谷駅より徒歩13分

ここは高津区の末長熊野森緑地の『江戸見桜』

実はこの桜、周囲の開発に伴い一時は枯死しかかっていた樹です。江戸時代からここにあり、胸高周囲は272cmを超える大木ですが、主幹は途中から枯れています。現在は、この緑地を管理するボランティアの方々のおかげで、写真の様に新枝もかなり伸び年々元気になってきている樹です。

この樹はヤマザクラとオオシマザクラの両方の特徴を持つ珍しい樹で、とても将来が楽しみな大樹です。



No. 54

久地駅の『寒桜』(ヤマザクラ×カンヒザクラ)

ここは南武線久地駅構内に植えられた、知る人ぞ知る『寒桜』です。

まだ新年が明けたばかりの1月中旬頃から咲き出し、車窓から気づいた人を驚かせてきた名樹です。残念なことに、この樹は年々衰退しています。上の『江戸見桜』とは違い、管理する人も無く、下の写真の様に外来樹種のトウネズミモチに、樹の上を覆われてしまい、車窓からも気づきにくくなってしまいました。

この桜は植物学者の牧野富太郎が東京の標本を基に命名した桜で、おそらく川崎で一番最初に咲き出す桜の名樹です。

後世のためにも、何とか枯れずに生き残ってほしいと願っています。

寒桜の花を覆う外来樹



久地駅

交通案内 JR南武線久地駅下車

◀外来樹(左)と寒桜(右)の根元

このコーナーでは、川崎市内の名木・珍木・希少木の情報を募集します。

あなたのご近所の地名の由来にもなった名木や巨樹、珍しい花が咲く木、変わった風景の木、調べてほしい不思議な木等々の情報をお寄せください。取材して、このコーナーで紹介します。・・・執筆いただいている木珠(こだま)氏がこのコーナーのホームページを作りました。《<http://hitotokinocharuka.web.fc2.com>》「川崎のツリーウォッチング」で検索してみてください。

発行・編集

(公財)川崎市公園緑地協会 緑の推進支援課

〒211-0052 川崎市中原区等々力3-12
電話 044(711)6631 FAX 044(722)8410